


# 調査・研修等計画届出書

令和 元年 7月 25日

瀬戸市議会議長 様

議員名 臼井 淳 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

|  |  |          |
|--|--|----------|
| 期 日  | 令和 元年 8月 5日から 8月 6日まで (泊2日)  |          |
| 調査先・研修名                                    | 初歩からやさしく学ぶ「複式簿記」入門講座   |          |
| 会場名 (会場所在地)                                | NHK 名古屋放送センタービル内教室   |          |
| 調査・研修の目的<br>(今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて) | <p>自治体議会では、地方財政健全化法や新地方公会計制度の成立により、地方自治体の財政状況の重要性が高まっており、会計制度の変化について、単式簿記・現金主義から「複式簿記・発生主義」に移行しました。基本となる複式簿記の知識なしで制度を理解することは困難であります。</p> <p>もうすぐ決算議会(9月定例会)をむかえるに当たり、「複式簿記」の基礎知識、仕訳から決算までの一連の流れと来年度から下水道会計も企業会計に移行します。そのため決算書の見方を学んでいく必要があり受講する。</p> |          |
| 議長名の依頼                                     | 要・不要   | 依頼先 (名称) |
|  |  | なし       |
| 同行者名                                       | なし   |          |

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和元年 8月 7日

瀬戸市議会議長 様

議員名 臼井 淳



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

|   |   |
|---|---|
| 期 日   | 令和元年 8月 5日から 8月 6日まで（泊2日）   |
| 調査先・研修名   | 初歩から学ぶ「複式簿記」入門講座  |
| 会場名（会場所在地）  | NHK 名古屋放送センタービル内教室  |
| 調査・研修の目的<br>（今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）  | 自治体議会では、地方財政健全化法や新地方公会計制度の成立により、地方自治体の財政状況の重要性が高まっており、会計制度の変化について、単式簿記・現金主義から「複式簿記・発生主義」に移行しました。基本となる複式簿記の知識なしで制度を理解することは困難です。<br>もうすぐ平成 30 年度決算（公立陶生病院組合含む）をむかえるにあたり、「複式簿記」の基礎知識、仕訳から決算までの一連の流れと来年度から下水道会計も企業会計に移行します。そのため企業会計の決算書の見方を学んでいく必要があります。<br>あり受講する。 |
| 調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等  |   |
| 大きく 2つの視点で受講し学んだポイント  |   |
| ① 地方公会計制度は、単式簿記・現金主義から、複式簿記・発生主義に移行しました。自治体公会計と企業会計の違いは、公会計の現金主義でなく企業会計は発生主義として、経営の健全化を図るために事実の発生を会計に表している。 |   |
| ② 現在、公立陶生病院組合監査の立場から、平成 30 年度決算書の見方として、どこを見れば何がわかるのか、どのような財務状況なのかを判断するポイントを理解する。                            |   |
| ※企業会計の貸借対照表・損益計算書を適切に分析する上で、できたら簿記 3 級程度の取得する必要がある。   |   |

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

企業会計の決算書

・決算の目的は、利益の計算を行い、貸借対照表と損益計算書を作成するためであるが、会計情報の資産・負債・資本・収益・費用・収入・支出に分かれ、現金の動きに関係なく事実の発生に基づき取引を認識することになる。自治体公会計の単式簿記のように、現金の動きのみを記帳し、資産等のストック状況をは別に管理することと違い、複式簿記は現金に加え、資産・負債の増減状況をあわせて記帳管理することになる。つまり、企業会計決算の目的は、会計期間の純損益を計算し、期末での資産・負債・資本の状況を明らかにすることになる。

・簿記の仕組みは、取引（事実の発生）→ 仕訳（簿記のルールに従って取引を分類する）→ 転記（整理、総勘定元帳に記入）→ 総勘定元帳の作成 → 試算表（転記が正確に行われたのか確認）→ 決算（損益計算書・貸借対照表の作成）の一連の流れになる。

・複式簿記5つの項目を理解する。貸借対照表は、資産・負債・資本/ 損益計算書は、利益・費用・収益の基本ルールがある。

《貸借対照表》

- ・資産：流動資産・固定資産・繰延資産
- ・負債：流動負債・固定負債・引当金
- ・資本：資本金・資本準備金・余剰金

《損益計算書》

- ・収益：売上高・営業外収益・特別利益
- ・費用：売上原価・販売費・営業外費用・特別損失

貸借対照表は、一年間における「お金の使い方」と「お金の集め方」を表す財務状態の縮図。損益計算書は、事業年度（1年間）中の会社の稼ぎ方（収益）と稼ぐための工夫（費用）や損失を一覧化した業績の成績表としている。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

もうすぐ平成30年度決算をむかえるが、公立陶生病院組合の監査の立場から、研修を受けて考察を述べる。企業会計における決算書：貸借対照表の見るポイント  
総資産で団体の体格、規模を見る。負債と自己資本の構成で財務体質の安全性を見る。純資産の内容を見る。流動資産と固定資産の中味を見る。負債の短期と長期を見る。留意事項として、あくまで事業年度末における財産状況を示し、資産は取得価額で表示されているため含み損益は見えない。

損益計算書のポイントは、収益高で取引規模を見る。団体の儲ける力を見る。本業の実力を見る。団体の総合力を見る。利益の効率性を見る。特に、団体の再生（再建）する場合は、営業利益の本業の儲けが大事になってくる。また、経営の分析では5つの視点で見ることになる＝収益性・効率性・安全性・生産性・成長性である。

以上